

会 議 記 録

次のとおり会議記録を作成します。

会 議 名	令和5年度 第1回高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会
開 催 日 時	令和6年2月19日(月) 10時00分～11時45分
開 催 場 所	高松市役所本庁舎13階 大会議室
議 題	<p>会長・副会長の選任について</p> <p>(1) 高松市地球温暖化対策実行計画の令和4年度取組状況について</p> <p>(2) エコシティたかまつ環境マネジメントシステムの令和4年度取組状況について</p> <p>(3) 令和5年度の脱炭素の取組について</p> <p>(4) 高松市環境基本計画(案)について</p> <p>(5) その他</p>
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	<p>15人</p> <p>白木会長、末永副会長、赤崎委員、生嶋委員、山元委員代理、木村委員、杉ノ内委員、鈴木委員、高畑委員、中尾委員、西川委員、西村委員、広瀬委員、増田委員、山本委員</p>
欠 席 委 員	2人
傍 聴 者	3人
担 当 課 及 び 連 絡 先	ゼロカーボンシティ推進課 (TEL087-839-2393)

審議経過及び審議結果

協議会を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

次のとおり、協議会を開催した。

会長・副会長の選任について

高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会設置要綱第4条の規定により、会長・副会長を選出した。

会 長 白木委員

副会長 末永委員

(1) 高松市地球温暖化対策実行計画の令和4年度取組状況について

(事務局より説明)

以後審議

審議経過及び審議結果

(委員)

資料(1) 13頁の地球温暖化対策実行計画進行管理指標のE評価3件の内容を教えていただきたい。

(事務局)

資料(1) 12頁にそれぞれの指標が記載されている。

1点目「環境学習講座参加者数」について、令和2年度に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で参加者数が大きく減少した。回復傾向にあるものの、基準年度の平成25年度参加者数まで至っていない。講座回数を増やしたり、周知を徹底したりすることで参加者数の回復増加に転じてまいりたい。

2点目「公共交通機関利用率」は、高松市にとって大きな課題である。平成25年度が13.7%、令和3年度に11.8%まで下がり、令和4年度は13.2%という状況である。公共交通の担当課である交通政策課では電車やバスの利用促進を行っているが、厳しい状況にあり、引き続き普及促進に努める。

3点目「1人1日当たりのごみ資源化量」には明確な要因がある。近年のデジタル化により、新聞・雑誌・漫画のような紙媒体の消費量が大幅に減少していることに伴い、資源となる紙が減少している。このような社会情勢の変化を含めた指標設定の検討も視野に入れたい。

(委員)

資料(1) 14頁「脱炭素行動の「見える」化」における企業との連携、及び「脱炭素型ライフスタイル推進リーダーの養成・拡充」のオンライン化や学校教育関係との連携について、今後の計画や考えを教えていただきたい。

(事務局)

県内企業との連携は非常に重要であると認識している。

企業に関しては、昨年及び今年度10月の食品ロス削減月間において、マルナカ栗林南店様でフードドライブをさせていただいた。また、コープ香川様とプラスチック資源について啓発のパンフレットを作成し、チラシとともにお配りいただいた。

他にイベントとして、事業者様が脱炭素に関する商品やサービス等の御紹介をする、脱炭素ソリューションピッチをオンラインセミナー形式で開催した。

講座に関しても、オンラインの併用を行っており、今後は同時配信だけでなく、アーカイブも検討し、受講者数の増加を図りたい。

学校教育関係との連携については、昨年度はゼロカーボンチャレンジ校として市内で小学校1校、中学校1校を指定し、子ども自らが考えて取り組む試みを行った。

今年度は、林小学校の学生が食品ロスについて自ら考えた取組を、高松市が12月に開催するゼロカーボンシティ展のパネル展で成果発表をしていただいた。

引き続き、企業・学校教育関係とも連携してまいりたい。

審議経過及び審議結果

(2) エコシティたかまつ環境マネジメントシステムの令和4年度取組状況について

(事務局より説明)

以後審議

(委員)

資料(2)7頁の「用紙類使用量の削減」がE評価だが、この会議におけるペーパーレス化についてお聞かせ願いたい。

(事務局)

庁内の会議においては、タブレット等も活用してペーパーレス化へ向けて進んでいる。庁外の会議については、デジタル環境を整えることができればペーパーレス化を進めてまいりたい。

(3) 令和5年度の脱炭素の取組について

(事務局より説明)

以後審議

(委員)

- 1点目、令和5年度における脱炭素型ライフスタイル推進リーダーの登録状況。
- 2点目、各コミュニティセンターでのLED化の進捗状況を教えていただきたい。

(事務局)

1点目の登録者数について、令和6年2月19日において、個人が51名、法人団体が8名、合計59名。

2点目のコミュニティセンターにおけるLED化について、改築をした十河や屋島等は完了している。その他については来年度以降LED化を目指す方針である。

(会長)

この議題について、その他に御意見等なければ、資料(3)10頁～20頁の「脱炭素先行地域」に向けて、末永副会長から何か戦略的なお話があれば伺いたい。

(副会長)

高松市のサンポートエリアは全国的にも非常に稀な天然の海藻の着床場である。ここに繁茂している海藻はカーボンニュートラルに資するものであり、この地域特性はアピールポイントとして考えられる。

(会長)

非常に良い御意見なので、事務局には御検討いただきたい。他の委員の皆様も御意見、御提案があれば事務局へお願いしたい。

審議経過及び審議結果

(4)高松市環境基本計画(案)について

(事務局より説明)

以後審議

(会長)

またお気づきの点等あれば会議後に事務局までお願いしたい。

(5)その他

(事務局より説明)

(会長)

それでは本日の会議はこれをもって終了する。